

市川市立福栄中学校 令和7年度 学習の指針

教科	美術科	学年	2年
----	-----	----	----

1. 学習の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活と社会生活の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

○何を理解しているか、何ができるか

○理解していること、できることをどう使うか

○主体的、対話的に造形活動ができるか

2. 学習計画

	学習内容	学習のねらい
前期	<p>○オリエンテーション</p> <p>○「しぐさで語る動物たち」</p> <p>○「はんこの文字デザイン」</p>	<p>・自分の心の中を見つめ、自分らしさや個性から主題を生み出し、構図や仕草、表情などの効果を考え、粘土や絵の具や道具などの特性を生かし、意図に応じて創意工夫をして立体表現する。</p> <p>・自分の名前を四角形の中に収まるようにデザインしゴム印をつくる。</p>
後期	<p>○「はんこの持ち手」</p> <p>○「筆と水で多彩に表す」</p> <p>○「飛び出すカード」</p>	<p>・自分のはんこの持ち手をつくるので、愛着の持てるような形を立体に彫刻する。削ることに抵抗感があるので粘土で塑像してみる。</p> <p>・墨と筆を使った絵画表現する。 鳥獣戯画で線描きの練習をしたり、水の量を工夫してにじみやぼかしなどの表現をする。 最後に色紙に好きなモチーフで絵と言葉を入れ、はんこで落款を入れて仕上げる。</p> <p>・飛び出す仕組みを学び、送りたい人や内容に合ったカードを作成する。</p>

3. 評価

(1) 内容および方法

	評価の内容	評価の方法
①知識・技能	・学習内容について理解しているか。 ・作品の意図に応じて、身につけた知識・技術を適切に用いて表現できているか。	・完成作品
②思考・判断・表現	・自らの考えをもとに、作品の構想を練ることができているか。表現の意図に応じた技法を用いることができているか。	・アイディアスケッチ ・アイディアスケッチの行程 ・デザイン画 ・提出物の記述内容
③主体的に学習に取り組む態度	・主体的に学習に取り組み、課題解決に自ら取り組もうとしている。 ・自らの表現を真摯に追求し、表現することができているか。	・授業内の学習活動全般 ・提出物状況 ・提出物の記述内容

(2) 観点と評価の関係

			評価
A	A	A	5
A	A	B	4
A	B	B	3
A	A	C	
A	B	C	
B	B	B	
B	B	C	
A	C	C	2
B	C	C	
C	C	C	1

<評価の注意事項>

授業や教科書、自分で調べたことを生かした作品を完成したか、作品を完成させるまでに自分で考えたことをスケッチや言葉で表現しているか、作品をつくるための準備をしたり、毎回の振り返りをしているか、などに気をつけましょう。 学習内容にも寄るが、①②③のバランスは、概ね2:2:1になります。

4. 教科に関するアドバイス

- ・1年生で学んだことを足掛かりにし、自分の主題をきちんと踏まえた作品作りを意識しましょう。
- ・作品、道具、授業プリントを大切にし、提出期限を守りましょう。
- ・課題を自分らしく解決していく、そしてその過程の段階で試行錯誤することが大切です。
- ・完成まで積極的に作品に取り組み、たくさんの良い作品が生まれることを期待しています。